

きらり 綾部人

このコーナーでは、綾部を中心に様々な方面で活躍している「きらりと輝く」魅力あふれる人々をご紹介します。



高津八幡宮 宮司 **朝倉 有紀** さん (大島町)

神社は“地元の愛”で成り立っています

881年(元慶5)創建と伝えられる高津八幡宮で、明治の神仏分離後6代目の宮司を務める朝倉有紀さん(36)。宮司とは、いわゆる神主(=神職)^{※1}と呼ばれる人の中でも神社の代表者となる役職をさす。女性宮司は、中丹管内では朝倉さん1人、京都府下においても5人程といわれている。

母方が社家^{※2}という環境で育った朝倉さんが、神道について真剣に学びたいと思ったのは20歳で父親を亡くした際、生家の葬儀のあり方について自身に知識がないことを痛感したのがきっかけだった。それから京都國學院で神道の歴史や祭祀の実技などの講習を受け、27歳で禰宜となり、その1年後には宮司となった。以来10年、祭事でのご祈祷や神前結婚式の挙行、古文書の整理や講演会など多岐にわたり活躍してきた。「この職に就いて、神社は地元をはじめとする多くの方々の支えで成り立っていることを知り、感激しました。また、神道の歴史は知れば知るほど面白い。古文書から驚きの史実に辿り着くと、この上ない喜びを感じます」と目を輝かす。

今後の抱負について「お宮参りや七五三などで神社を訪れる方は多いと思いますが、その謂れや作法を知っている人はあまりいないのでは? 他にも神社でもらったお守りやお神札の取り扱いといった“身近な神道の心得”を学ぶ場を作り、歴史や文化を継承していけたら」と語る。

宮司の魂の籠った祝詞が、厳かに境内に木霊する。

※1 神職には、宮司以下、権宮司(ごんくうじ)・禰宜(ねぎ)・権禰宜(ごんねぎ)がある。
 ※2 社家とは、明治維新後、代々特定神社の神職や社僧の職を世襲してきた家(氏族)のことをいう。



年越大祓にて、その年の厄や穢れを払う大祓の儀式を執り行う

「宮司って実は装束を着ていない時の地味な仕事の方が多んですよ」と笑う朝倉さん。プライベートでは2児の母として育児にも奮闘している



京都府指定文化財の社殿をはじめ、綾部市指定文化財の木造獅子・狛犬(南北朝時代)、紙本淡彩墨絵大観辰高像(鎌倉時代)など数多くの社宝を有する高津八幡宮

2月は今年度最後の「第3回 ふるさと産品」を発送します。

お送りする商品は
綾部の地酒 特別純米
 あやこまち
「綾小町」(720ml)
 (若宮酒造株式会社)

※地酒以外を希望された方には、ご希望の選択産品をお送りします。

2月20日(月)から
 順次発送いたしますので、
 お受け取りをお願いします。



次年度への更新手続きを開始します!

29年度への更新の案内書類を2月末から順次お送りいたしますので、内容をご確認の上、お手続きくださいますようお願い申し上げます。



会員専用のお得な携帯クーポン配信中!!
メルマガの登録はお済みですか?

あやべ特別市民専用メールマガジンで配信される携帯クーポンを掲示すると「あやべ温泉」の入浴料が**無料**になります。

※メールマガジンの配信は、毎月15日です。(次回の配信は2月15日となります)
 ※受付で、必ず携帯のクーポン画面をご提示の上、会員番号と名前をお伝えください。

ホームページからメルマガ登録も出来ます!

携帯からはQRコードをご利用ください。



あやべ特別市民
**メルマガ会員
 専用クーポン**
**あやべ温泉
 入浴無料**

使用期限:
 平成29年3月14日
 ※お一人様、1回限り有効。
 ※使用の際は、このクーポンを提示し、必ず会員番号と氏名を伝えてください。

(携帯画面イメージ)

あやべ特別市民

ニュースレタ

平成29年1月20日



安国寺(綾部市安国寺町) あやバス:あやバス黒谷線「安国寺前」バス停下車 徒歩2分

綾部市秘書広報課
 〒623-8501 京都府綾部市若竹町8番地の1
 TEL 0773-42-3280(代表) 内線 212
 TEL 0773-42-4204(直通)
 FAX 0773-42-4905
 e-mail: hisiyokoho@city.ayabe.lg.jp

ニュースレター
 発行:綾部市 企画・編集:綾部市観光協会
 綾部市観光協会 TEL0773-42-9550

今年度は綾部市観光協会が「あやべ特別市民ニュースレター」の制作を担当しています。

f 綾部市公式 Facebook ページ
 皆様からの「いいね!」をお待ちしています。

大寒の厳しい寒さが身にしみる季節となりました。皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。あやべ特別市民制度は、会員の皆様のご協力により、今年度も2,100人を超える多くの方にご加入いただきました。皆様のご支援ご厚情に心から感謝申し上げます。今後も綾部市の魅力を実感していただけるよう一層の制度の充実に努めてまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

綾部市長 **小河 孝也**



綾部の旬が盛りだくさん!
「あやべ特別市民」ホームページ
<http://www.ayabefan.com/>



メルマガ
 QRコード



蚕都・綾部の魅力発信！



Gunzeのあゆみを明治初期～昭和初期を時代ごとに分けて紹介



時代背景を感じさせるGunzeのポスターセレクション



Gunze Museum

Renewal Open

綾部で生まれたGunze株式会社が、2016年創業120周年を迎えました。これを記念して、Gunze Museumをリニューアル。蚕都の歴史・現在・未来が体験できる施設として、市の観光交流拠点・あやべGunzeスクエアの目玉スポットとなっています。今月は、装いも新たに生まれ変わった博物館の全貌と魅力をご紹介します。【取材・文】白波瀬聡美

知って、学んで、体験する 3つの展示蔵

Gunze Museumは、Gunze創立100周年（1996年）に開苑。大正時代に使用されていた繭蔵を改装した3つの展示蔵で、Gunzeのあゆみを紹介している。同社創立120周年を機に、これまで「歴史蔵」「ファッション蔵」「新機能蔵」として親しまれていた3蔵を大幅にリニューアル。名称もそれぞれ「創業蔵」「現代蔵」「未来蔵」に改称し、「Gunzeの過去・現在・未来」が時系列でよりわかりやすく見学できる内容に刷新された。



Gunzeの過去・現在・未来が時系列でよりわかりやすく見学できる内容に刷新された。



博物館前のガーデン。今後多目的スペースとして開放予定

創業蔵 Sogyogura

創業蔵では、創業前の明治初期～昭和初期のGunzeの歴史を日本の近代史と照らし合わせながら紹介。1階では、蚕糸業で使っていた道具や機械などが展示されている。若者には珍しく、かつて養蚕に携わっていた人たちには懐かしい貴重な資料の数々。繭に囲まれて記念撮影できるコーナーもあり、女性やSNS世代のアンテナをくすぐる。2階では、Gunzeのあゆみとともに創業者・波多野鶴吉の精神や語録、人づくり（教育）などを展示。鶴吉の目指した会社づくり、Gunzeの理念が紹介されている。



繭に囲まれて記念写真が撮れる



現代蔵 Gendaigura

現代蔵では、各事業の製品などを展示。1階では「こんなところに！Gunze」をキーワードに、日常生活の色んなシーンに発見されるGunzeの製品やサービスを、パネルや画像、イラストなどで紹介している。プラスチックや再生医療などの分野におけるGunze事業の躍進に驚き、感心する。2階では、インナーやパンストをはじめとする、私たちがイメージする「ザ・Gunze」ともいべきアパレル事業のあゆみを紹介。YGやBODYWILD（ボディワイルド）、SABRINA（サブリーナ）やTuché（トゥシェ）などの代表ブランドごとに、当時の製品やポスター、なつかしいCMなどがズラリと展示されている。レトロなポスター群は1枚1枚が実にお洒落で洗練されており、時間を忘れて見入ってしまう。



日常の身近なシーンにもGunzeの製品がたくさん



未来蔵 Miraigura

未来蔵では、「明日をもっと、こちよく」をテーマに事業展開するGunze最新の製品や技術を紹介。体内に吸収される再生血管や人工皮膚といった医療製品や、繊維と電子を組み合わせた導電性のニットなど、最先端の技術と英知を駆使し、「クオリティオブライフ」を目指した製品の数々が展示されている。音や光を駆使した体験コーナーも充実。今後も、公開された新製品が随時更新展示される予定となっております。期待が膨らむ。



近未来を感じさせる未来蔵。五感で感じる体験コーナーも充実している



市民集いの場として提供 道光庵・集蔵 Dokoan Tsudoigura

同じく120周年記念事業として、昨年5月にオープンした「道光庵」。贅沢を望まず、従業員とともに「道光館」と呼ばれる社宅に暮らした創業者・波多野鶴吉。その社宅の一部（床の間・欄間・高塀門）を移築した道光庵は、当時の調度品が展示された和室と洋室、庭には「繭」をモチーフにした踏み石や盆栽のほか、梅や桜、あじさい、もみじ等が植栽され、四季を通じて景観を楽しむことができる。和室はお茶室にもなり、各種サークルでの会合や市民の休憩スペースとして利用されている。また展示蔵向かいにある「集蔵」も文化教室や作品展など、多目的に使えるスペースとして市民に提供されている。さらに来年は、博物館前のガーデンスペースも多目的広場として開放予定。



和室はお茶室にもなる道光庵



一般の方も各種作品展や文化教室等に利用可能な集蔵

Gunze Museumをはじめ魅力的な施設が充実する「あやべGunzeスクエア」は今後も、市民の憩いの場として、また観光交流の拠点として、ますます多くの来場者で賑わい市街地を活性化する。

- Gunze Museum 〒623-0011 京都府綾部市青野町膳所1「あやべGunzeスクエア」内 TEL：(平日) 0773-42-3181 (土日・祝日) 0773-43-1050 (開苑時間) 10:00～16:00 (休苑日) 火曜(祝日の場合は翌日)
- 道光庵 (開庵時間) 11:00～16:00 ※木・金・土曜のみ開庵 (貸切予約) 1,000円/時間、月1日まで利用可